

## 資料1 本日のアジェンダ・検討資料

- 日時：平成29年1月18日(水)
- 場所：鴨川市役所
  
- 議題

No.	議題	内容	資料
1	シンポジウム報告	1-1 市民シンポジウム報告 1-2 学生シンポジウム報告	資料1 資料2(報告資料)
2	計画書の説明	2-1 目指す姿について(ウエルネスリゾート構想) 2-2 パブリックコメントに向けた今後のスケジュール	資料1
3	協議したい事項について	ゾーニング計画について	資料1
4	検討委員アンケートについて	第二回検討委員アンケートへの協力依頼	資料1
5	次回打合せの確認	次回打合せの日程・内容の調整	-

# 1 シンポジウム報告

# 多くの市民の方にご参加いただき、アンケートや質疑応答等、対話形式でのシンポジウムを開催することができた

## 実施概要

- 102名と多くの方にご参加いただき、マーケティング視点の重要性や行政と民間企業の役割分担などについて考える機会となった
- 対談前アンケートや質疑応答を通し、市民の方から広くご意見を頂戴することができた

### 【日時】

12月17日(土) 15:00 ~ 17:30

### 【参加者】

102名

### 【コンテンツ】

#### 講演

#### マーケティング視点からの地域活性化



- 宮崎県日南市マーケティング専門官田鹿様からの講演
- マーケティング戦略としてのイメージ戦略や企業とのコラボレーションの事例の紹介
- 地方活性化の仕事で大切なこととして4つのポイントを紹介  
(参考: 4つのポイント)

- 個々の取り組みからの脱却
- 誰に評価されるべきかを間違えない
- インセンティブ設計に最も力を入れる
- 小さく始めて、スピードと小回りで勝負

### 【集合写真】



#### 対談

#### 地域の活力を生み出す拠点に求められる機能

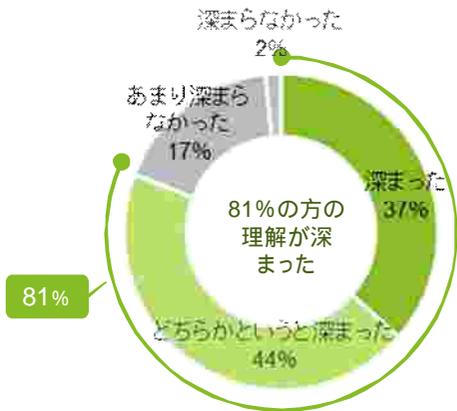


- 田鹿様と鈴木副委員長による対談
- マーケティングがなぜ必要なのかという思考の落とし込み
- 市民からのアンケートをもとにした質疑応答
- その他会場に開いての質疑応答

# 一定程度参加者の事業に対する理解促進やヒント獲得に貢献したとともに、 非常の多くの方から今後の参加意向を得ることができた

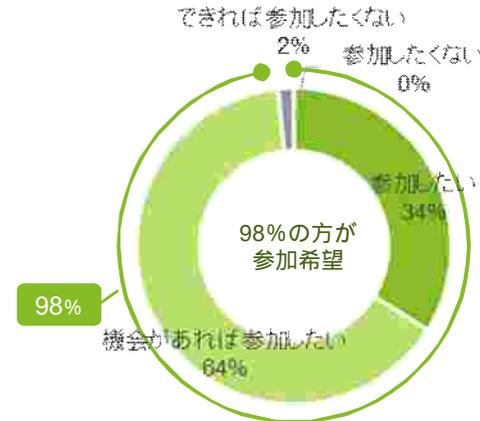
## アンケート結果概要

### ■ 当該事業の取り組みへの理解は深まりましたか



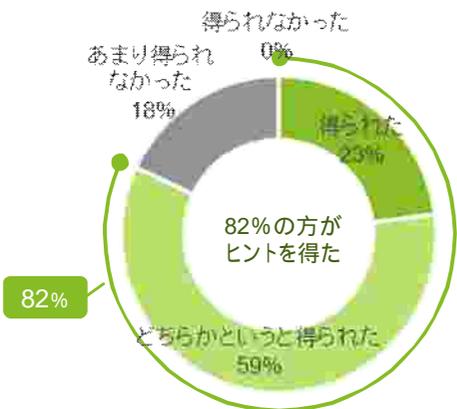
- 取り組みの開始はだいぶ遅いと思うが、民間を入れた現状の問題点の洗い出しを行っていることが分かった。
- 市民や役所が、地域の活性化にもっと真剣に取り組み、関心を持たないと、いつまでも変わらない。
- 勉強になりました。

### ■ 今後、鴨川市の活力を生み出す取り組みに参加したいと思うか



- 地域、市民が一体となって取組むことが肝要。
- 市民として当然のこと。
- 鴨川市内の若手企業人にできるだけ中心に取り組んでいただきたい。

### ■ 日南市の話からヒントは得られましたか



- インセンティブ設計という考え方が同地域にもほしい。
- 基本的なロジック・考え方の筋道が少し理解できたため、状況が異なる鴨川でも応用できるように思った。
- 成功例にとらわれすぎると鴨川らしさが無くなってしまう。

# 拠点整備や地域再生に向け市民の方々から意見をいただくことができた

## アンケート結果概要

良質な日常を実現するにあたり、海岸の拠点にあると良いと考える仕掛け・機能についてご意見があればお聞かせください。

### 店舗に関連する意見

- 地元(鴨川市全体)の極上品を並べた店。
- 漁業者が主体となった販売センター、レストラン(フィッシャーメンズワーク等)。
- コンテナを活用したお店、夜でも開いている店。
- 海の幸BBQパーク、オリジナルスイーツショップ、アパレルショップ、和風バル。
- 砂浜上にあるアルコールスタンド的な売店。

### 機能に関する意見

- スタジオ、オープンスペース(簡易なカフェ)、コインロッカー、脱衣所。
- 集客施設(コンサートホール等)。
- ゴミ箱や、きれいなトイレ。
- 海岸の魅力を発信するプラットフォーム。
- サーフィンミュージアム。
- 整備のされた低料金有料駐車場及び歩道
- ドッグラン。スケートボードパーク。自然いっぱい(グリーン)(芝生)。他地域にないビーチパーク。

### その他意見

- 海をオールシーズン楽しめる場所にしたい。青島のビーチパークはとても参考になる。
- 市民のための海岸か、経済活動を支える観光客の増加か、両面から検討してほしい。
- 駐車場の整備、駅前通り海岸への道の整備は不可欠。そのうえで人が集まれる施設を考えたい。

前原横渚海岸周辺地域の再生に向けて必要と思われる取り組みについてご意見があればお聞かせください。

### 連携に関する意見

- 観光事業者と漁業者との強固な連携(現在は全く無い)。
- 「行政も変わる。住民も変わる。またその協働も大事。」と言われているが、鴨川市ではサッパリ。前原地区、横渚地区住民のコミュニティづくりに市長の熱意を期待したい。

### 環境整備に関する意見

- 市民が楽しめる、外部の者も楽しめる、人と人の交流が生まれる地域にする為にセンター施設(ランドマーク)の整備。
- スポーツを中心に多様な需要に応え得る、ユニバーサルな集客機能の整備。
- ただ海で泳ぐのであれば他の海にも行ってしまおう。海辺の施設作りが必要。
- 本町通りや、芝通りの住宅を芝の広い庭のある平屋建て住宅に変え、販売や貸し出し、若者の移住を促進する。
- 駅前から海岸への導線にシンボル。

### イベント開催に関する意見

- 定期的なイベント(マラソン、サイクリング、ハロウィンなど)の開催。
- 定期・不定期での海岸清掃活動の実施。
- じっくりと腰をすえた催しが不足している。花火、フラダンス、ソーランくらいか記憶にない。企画、立案を市民を交えて計画して、市民や、他所からの方々も楽しめる催事を望む。
- 素晴らしい海岸でのフラフェスタ、フラのまち鴨川を実現したい。そのための必要な取り組みをしたい。

### その他意見

- 従来型の観光でなく、体験、いやし、健康など新しい価値を求める観光に変化しており、そういったことも配慮してほしい。
- 観光客向けも良いが、定住人口を増やす施策も同時に行った方が良い。特に若年層の世帯向け。
- 観光客だけでなく、住んでいる方が幸せな毎日を送れるように、おねがいます。
- JR安房鴨川駅周辺との環境づくりも考えていくべきではないか。

# 参画意欲の高い市民の方々を巻き込みながら計画策定を進めていくことが求められる

## アンケート結果概要

鴨川市の活力を生み出すためにご自身で協力できそうな事についてご意見があればお聞かせください

### 情報発信に関する意見

- 鴨川には自信をもって紹介できるものがたくさんある。酪農、農業、漁業、サーフィン。前原海岸の前にある自分の店(カフェ)で語り、伝えていきたい。
- SNS等で市のPR活動に取り組む。
- かもナビなどの情報をネットにたくさん流すのは、本当に必要。それを興味をそそるようにきれいに分かりやすく作る。
- まず食べログ、ホットペッパーに入会する。

### 計画等への参加に関する意見

- だれかがやるのではなく今日聞かせていただいたようにみんなで作ることがその後につながると思う。
- 自分達の地域の為に協力したい。市民の声を聞いて市民の人材を活かしてほしい。
- 海岸の清掃など、お手伝いする。清掃活動は、日を決めて、年に数回市民公募で行うとよいのではないか。市民参加型が望ましい。
- 協力できそうなことがあれば何でもやりたい。

### その他意見

- 漁師になること。

その他、何かご意見があればお聞かせください。

### その他のアイデアに関する意見

- 待崎橋から河口までの川にフタをして、広場を造る。
- プールを造ってほしいという市民の声がある。子どもが安心して遊べるゾーンも必要ではないか。
- 海岸を愛する、海岸のミリオクを体感している方々からの意見を1番に取り入れる。デザイン的なものもそれを理解している業者に委託する。
- シンポジウム内でもあったホテル等のネット予約や市内施設、飲食店の詳しい情報の発信が必要。若い人は宿泊施設の予約はネットですることが多い。

### 叱咤激励

- オール鴨川でがんばりましょう。
- 道の駅など、観光資源が全く生かされていない。
- 市役所職員の方々のますますのやる気アップを期待しています。

### その他意見

- 検討委員会のメンバーを(他の委員会も)いつもと同じメンバーで組織ではないかと思えます。これからの将来を話し合っているいろいろな意見を発表してもらうには若手の人材を活かした方がよいと思われれます。

# 地域の大学生、高校生と共に海岸の拠点について考えるフューチャーセッションを実施した

## 実施概要

- 多様な学校等から36名の方にご参加いただき、フューチャーセッション形式のワークショップを開催した
- 普段関わらない人同士の対話であったが、立場に縛られない自由な意見交換をしていただくことができた

### 【日時】

12月18日

### 【実施会場】

亀田医療大学

### 【人数】

36人

(亀田医療大学学生、城西国際大学学生、長狭高等学校生徒、鴨川市職員等)

### 【手法】

ワークショップ(フューチャーセッション(\*1))

### 【ワークショップの問い】

- 理想的な海岸拠点(ビーチパーク)像は？
- 理想的を実現するためにはどんな仕掛けが必要ですか？
- 理想的なビーチパークを作るため、あなたはどんな挑戦がしたいですか？

\*1:フューチャーセッションとは

フューチャーセッションとは、未来を自分事として考えるための対話手法のこと。理想的な未来を基点に今、自分自身に何が出来るかを遡って考えるバックキャスト手法を用いることで、現状に縛られない自由な発想や、その実現に向けたコミットメントを生み出す。

### 【コンテンツ】

#### 概要説明

現状・課題説明、先行事例の紹介



鴨川市の置かれている現状や課題をデータを基に把握する時間とした。また、課題を先駆的に解決した事例としてAOSHIMA BEACH PARKの事例を紹介している。

#### チーム作り

マグネットテーブル



自身の関心のあることを紙に書き、似た考えの仲間を探し「マグネットテーブル」という手法を用いてチームを組成した。それにより、普段は話さない方々と真剣に語りあう環境をつくることができた。

#### ワークショップ

フューチャーセッション



海岸の拠点の理想像や、必要な仕掛け、そこに自身がどのように関わるかというテーマで自由に話し合いをした。模造紙には、おおくのアイデアが書き込まれ、立場を超えた話し合いがなされた。

#### 発表

プレゼンテーション

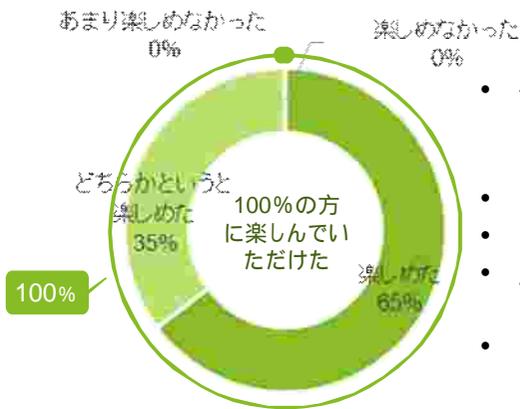


各班ごとに話し合ったアイデアについてプレゼンテーションをしていただいた。理想の施設や必要な機能、参加したいイベント等、若い視点からの意見をいただくことができた。

# 多くの方に楽しんでいただき、イメージづくりやアイデア創出においても有効な機会となった

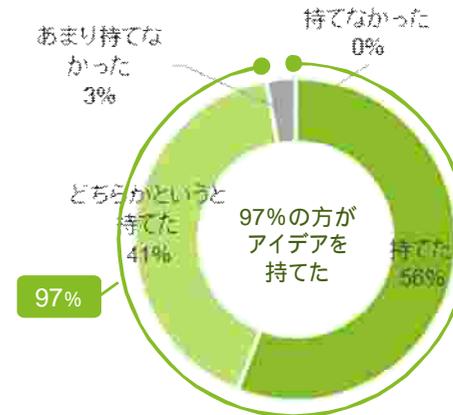
## アンケート結果概要

### ■ ワークショップは楽しめたか



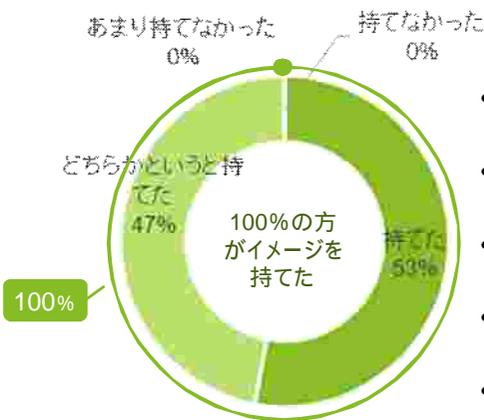
- 初めて会う方々と地域の話をするということ自体がとても新鮮で刺激となりました。
- たくさん意見を聞けたから。
- 明るい雰囲気での話し合いが出来た。
- 立場に関係なく意見を交換することができた。
- バックカastingが初めての経験だったので、楽しかったです。

### ■ 海岸に備えるべき仕掛けについて、アイデアは持てたか



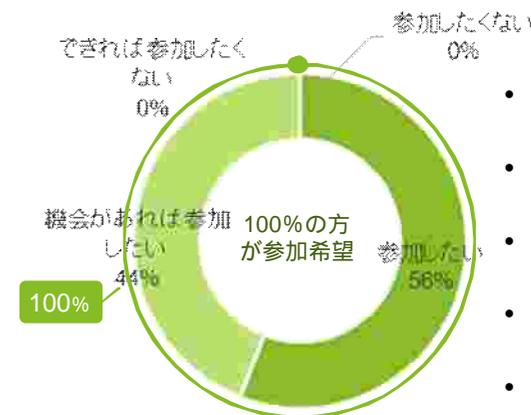
- 色々な班の意見をきいて、自分の考えがより具体的になったり、新しい考えを持てたりしました。
- 理想を実現するために必要なすべきことを考える良い機会になった。
- 具体的で実現できそうな仕掛けが多かったと思う。

### ■ 理想的な海岸像のイメージは持てたか



- 沢山の意見があり、活気のある前原海岸のイメージがわかりました。
- 自分と似たような意見を持っている人と話し、考えることができてよかった。
- 理想的な海岸拠点像が今日の話し合いで明確になったから。
- 最初に考えていたイメージが大きく変わった。
- 他の班の人達も面白いアイデアがたくさん出ていて、具体的な理想像をつかめた。

### ■ 今後、鴨川市の活力を生み出す取り組みに参加したいと思うか



- 機会があれば積極的に参加したいと思いました。
- ボランティアなどに積極的に参加して、鴨川のこともっと知りたいと思う。
- 鴨川が変化していくのを近くで感じたい。
- もっと踏み込んだ内容で意見を交換したい。
- やはり自分の住む地域には活力、魅力があって欲しいですし、自分も力になれることがあるならと思いました。

# 拠点整備に関するアイデアや、各々の関与の仕方について意見をいただくことができた

## アンケート結果概要

良質な日常を実現するにあたり、海岸の拠点にあると良いと考える仕掛け・機能についてご意見があればお聞かせください。

### コンセプトに関連する意見

- 鴨川の田舎らしさを強調したイベントや宣伝をして、日常の喧騒から離れ、ゆったりとした非日常を味わってもらおう。
- その地域にしかないものを主張し、施設としての存在を高められると良いと思う。
- より海岸感があると、良いのではないかと思いました。
- 現代的で外国風でも楽しいですが、古風な”小江戸風”にしても面白いと思いました。

### 具体的な施設・機能に関する意見

- 商店街などを作る
- スパ、淡水プールがほしい
- 道の駅などの大型施設を作り、集客を狙う。
- 夜でも海を楽しめるような施設をたくさんつくる。

### 地域住民との連携に関する意見

- 観光客だけでなく、地域住民のニーズに応えた機能、仕掛けを作り観光客と地域住民の交流を促す。
- 海側にある商店街と観光客、市民の需要と供給の一致。
- 地元民の共通意識が雰囲気作りの第一歩だと感じた。

### 安全・衛生に関する意見

- 衛生面は大切なので、ゴミ箱やトイレは大切なものだと思います。
- ゴミがなくなるようにゴミ箱をたくさん設置する。そのゴミ箱にも工夫を入れる。
- 緑を増やして非日常感を出す 花がたくさん咲いている所にゴミを捨てようと思わないので、花を植える
- まっぴかりにする外灯じゃなくて、(LEDとか)、星空もめだつような電球をモチーフとした外灯をつけてほしいです。

### その他意見

- 海岸に観光客がここに来たという痕跡を残せる仕掛け。(魚見貝塚の南京錠)

鴨川市の活力を生み出すためにご自身で協力できそうな事について、ご意見があればお聞かせください

### 企画による貢献に関する意見

- シーグラス雑貨作りイベントの開催
- 人を集めるインパクトのあるイベント企画
- PR動画を作る
- 移動販売をする

### 情報発信に関する意見

- 鴨川のことをフェイスブックやTwitterで情報発信をしていきたいと思いました。
- SNSを活用して、鴨川の事(イベントの宣伝・お店の紹介・商品の感想など)を拡散して、鴨川のことをより多くの人に広められればと思う。

### 参加による貢献に関する意見

- 一番簡単なのは、ゴミ拾いなどのクリーン活動だなと思いました

### その他意見

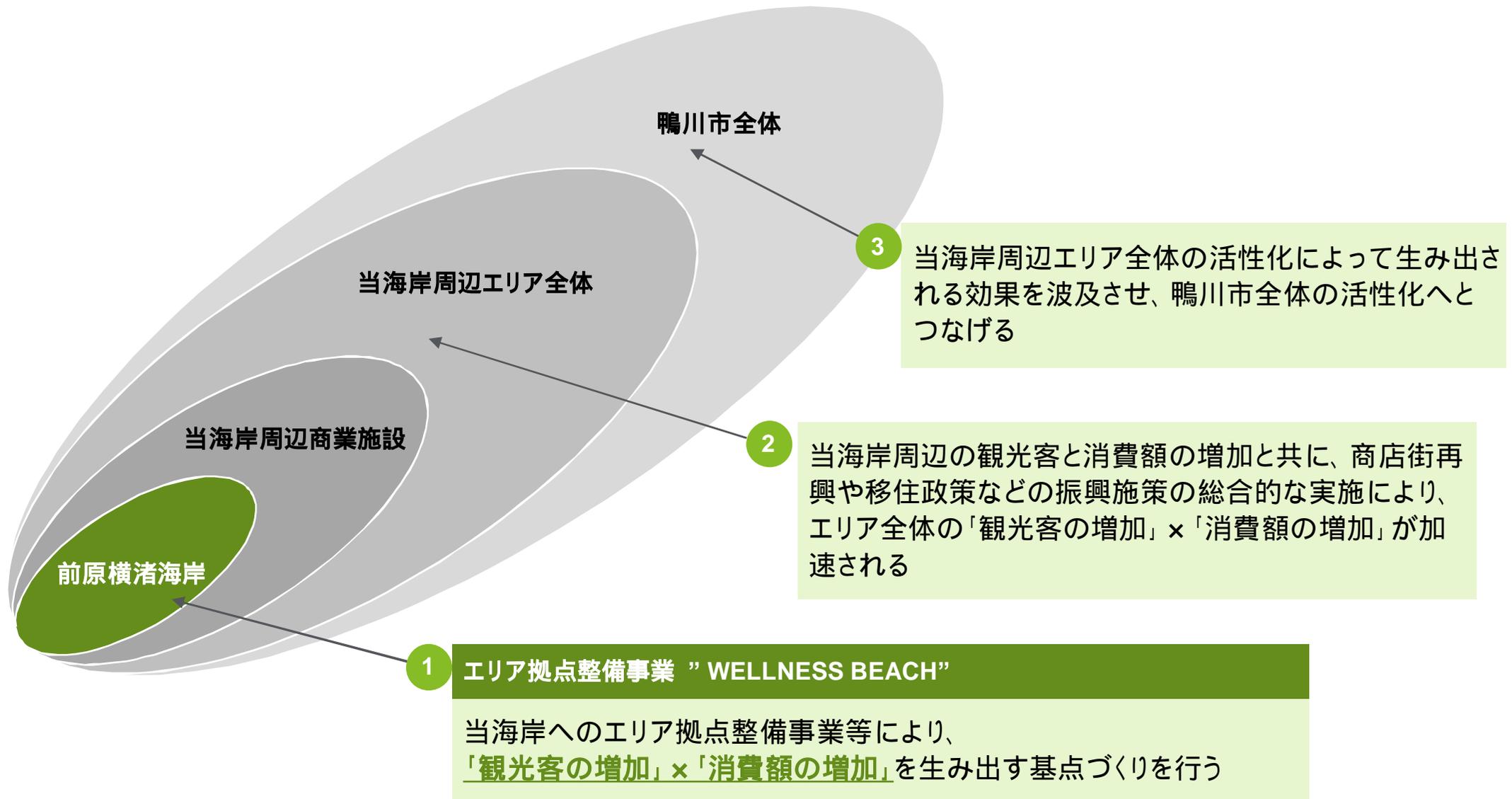
- 自分が関われそうなことであれば何でもやりたい。
- 地元に残る

## 2 計画書概要の説明

# ウェルネスリゾート構想（計画書一部抜粋資料）

統一的なエリア活性化施策の推進により「観光客の増加」×「消費額の増加」を生み出し、鴨川市全体を活性化させる基点となることが、当海岸の目指すべき姿である

当海岸周辺が目指すべき姿



# 「良質な日常の提供」というコンセプトに基づき、統一的な価値提供を実施する

## 将来像実現のコンセプト

### コンセプトの設定

#### 【コンセプト設定の意義】

前原横渚海岸の拠点について、観光客にとって魅力ある価値提供を検討していくためには、統一的で軸となる**コンセプト**が必要である。

魅力ある価値提供を実現することを目的にコンセプトを定めるものとする。

#### 【設定したコンセプト】

#### 「良質な日常の提供」= ウェルネスリゾートの実現

##### ■ コンセプトに基づく3つの提供価値



##### 身体的価値

鴨川を訪れると、健康が増進する、美容が保たれる、元気になれる



##### 精神的価値

鴨川を訪れると、家族の笑顔が増える、日常をリフレッシュできる



##### 社会的価値

鴨川を訪れると、自分の居場所や人の温かさを感じられる

##### ■ コンセプトに沿わない価値は提供しない

➢ 特定の顧客層だけに支持される排他的な価値

➢ 刺激や目新しさのみを求めるイベント

(例)夜間の音楽・ダンスイベント、爆買い観光プログラム など

#### 【鴨川市観光コンセプトとの整合性】

拠点のコンセプトは、鴨川市の観光コンセプト「心が満たされる、癒しのリゾート鴨川」と整合させる必要がある。

「良質な日常の提供」によって観光客の心が満たされ、癒しがもたらされることから、拠点コンセプトは観光コンセプトに適切だと考えられる。

### コンセプトの波及イメージ

1

#### エリア拠点において「良質な日常」の具現化



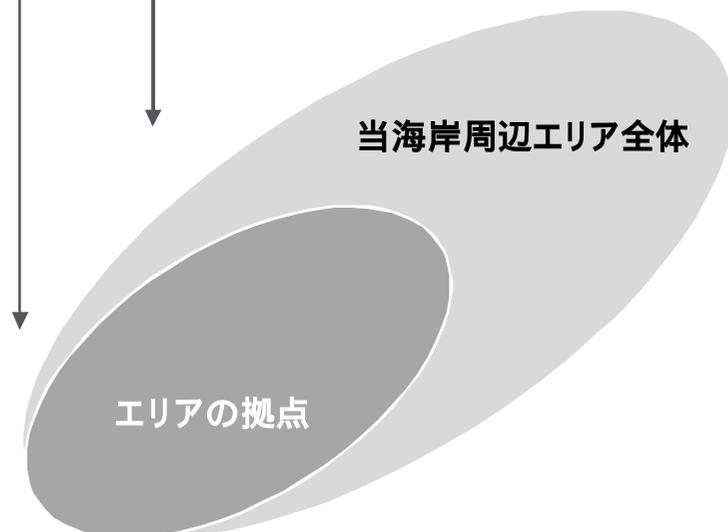
- あたたかい人のつながり
- 自然の中での運動
- おしゃれなカフェ
- おいしいベーカリー

2

#### 良質な日常のイメージを周辺エリア全体へと波及させ、「心が満たされる、癒しのリゾート鴨川」を実現



- 帰ってきたい第二のふるさと
- 暖かく癒されるまち
- 自分を取り戻せる場所
- 田舎リゾート

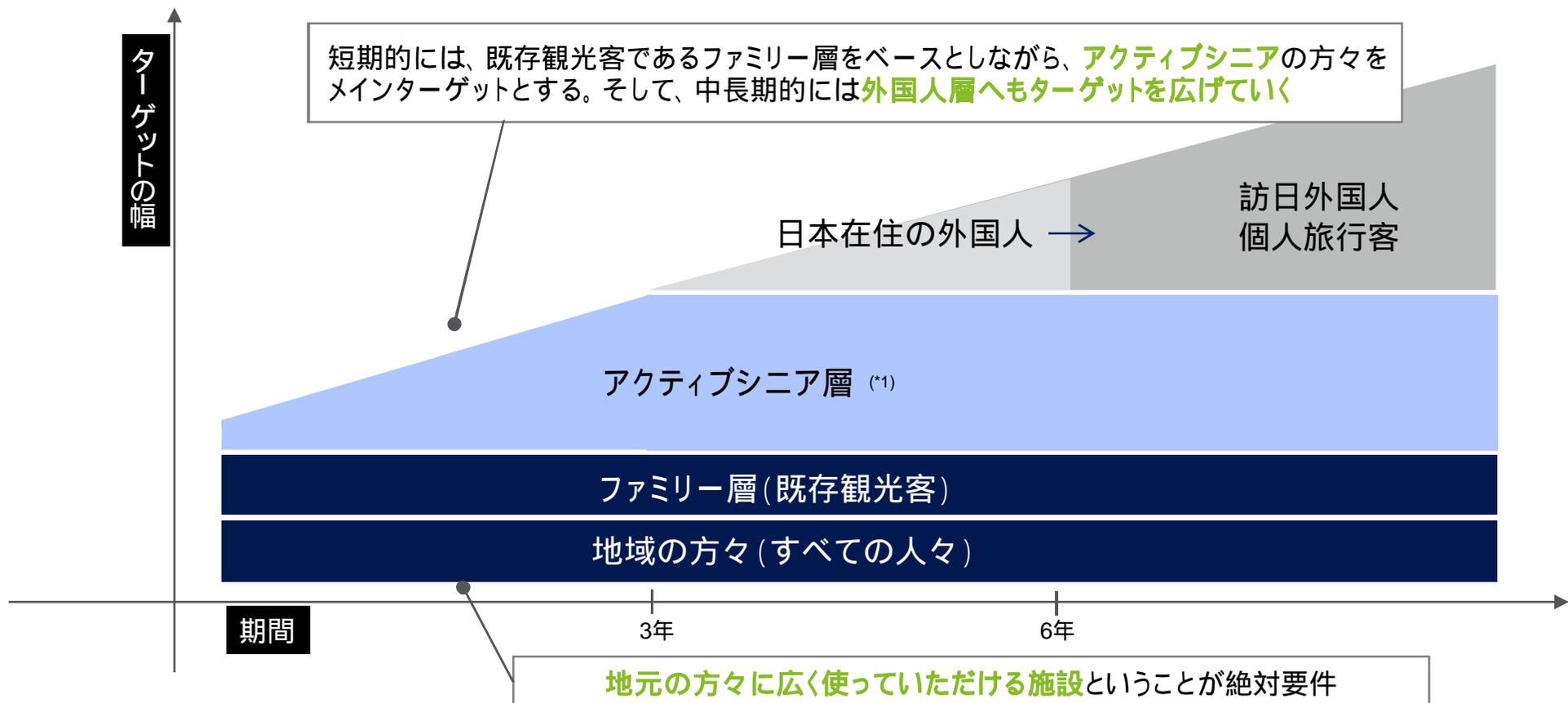


# アクティブシニアをメインターゲットに置きながら、中長期的に多様な方々に訪問いただける観光拠点の創出を目指すことが有効である

## ターゲットの選定について

### ターゲット選定の軸

- 地域の方々に広く開いた拠点とするためにも、他の観光客を排除しないターゲットであること
- 目標としている「観光客の増加」と「消費額の増加」の双方を実現できること
- 他の施策との連携がしやすいなど、町としての方向性に合致すること

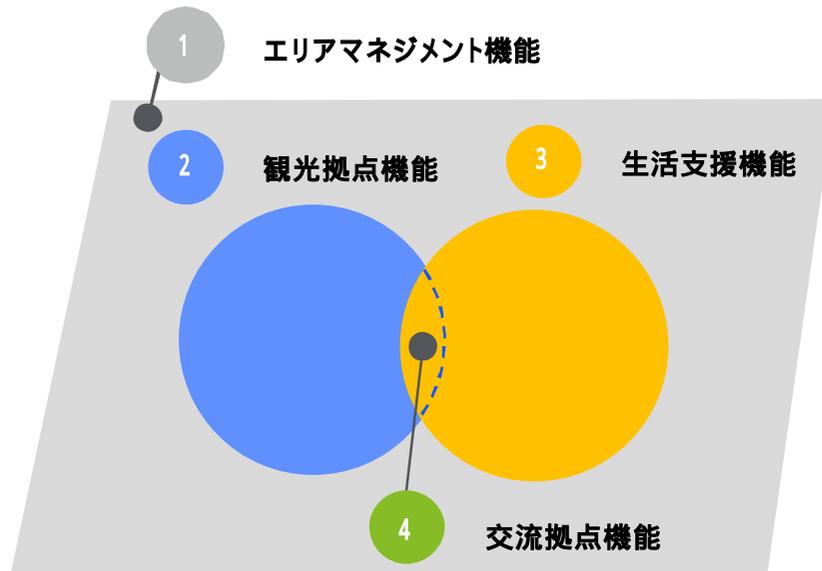




# 拠点に求められる機能を踏まえ、それらを提供するための仕組みを整備していく

## 整備すべき拠点の機能

拠点に求められる4つの機能



### エリアマネジメント機能

エリアの活性化に向けて、統一的な方向性を示し、プロジェクトマネジメントを担う。また、他施策との連携を積極的に図り、鴨川市全体の活性化につなげていく機能

### 観光拠点機能

鴨川市外部から訪問する人に対するワンストップ窓口となり必要な情報を提供する。また、待合や地域産品販売などの機能も併せ持つ

### 生活支援機能

鴨川市内の方々の生活を支える機能。行政機能や防災機能を持たせ、市民が日常的に活用する場とする

### 交流拠点機能

訪問客と地域の魅力の交流を促す機能。人が集う場所やコンテンツを提供する

求められる機能を実現する仕組み案

### エリアマネジメントセンター

- エリア活性化の拠点施設
  - 観光客も地域の方も訪れたい機能を持たせる
- **観光案内**  
観光客に対し、観光情報やイベント情報をワンストップで提供する
  - **待合・休憩スペース**  
観光客が気軽に立ち寄り待合・休憩できるスペースを設ける
  - **エリア活性化事務局**  
エリア活性化に関する各事務局が横断的に集うスペースを整備する
  - **子育てひろば機能**  
子育て中の方が集い、情報交換できるスペースを設ける
  - **情報発信施設**  
コミュニティFMラジオ局等の設置や、防災放送設備等を整備する
  - **移住促進**  
観光客が鴨川への移住について気軽に相談できる施設を整備する

### 魅力体験広場

- 海岸を活用したコンテンツ提供やイベント開催を担う
  - 観光客と地域の魅力が交わるために機能を持たせる
- **コンテンツ提供**  
海岸を活用したアクティビティ等の企画・提供を行う
  - **地域産品販売**  
鴨川周辺の食や工芸品等を気軽に楽しめる場を提供する
  - **イベント開催**  
観光客と地域の人々双方が楽しめるイベントを企画・提供する

# 他の観光地と差別化を図るため、鴨川の強みを活かしたコンテンツ開発を進めていく

## 差別化を図る特徴的な価値提供を検討する

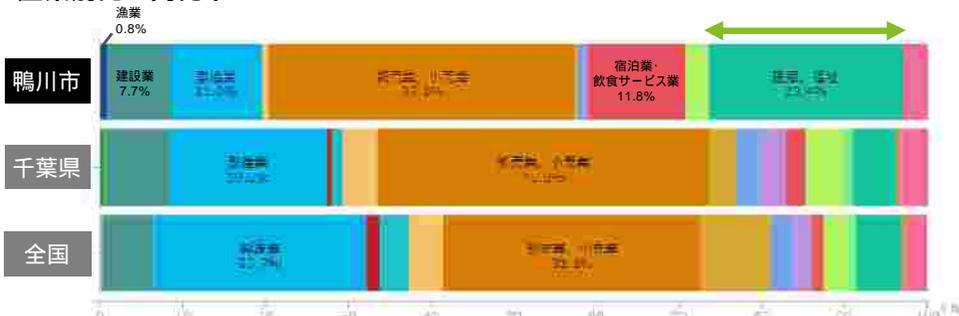
### 差別化検討の視点

- 鴨川市の強みを活用でき、市場として魅力的でターゲットに訴求できる「ヘルスケア」を差別化の軸に定める。

【鴨川市の強みを活かすことができること】

- 産業構造から鴨川市は宿泊・飲食といった観光関連サービスのほか、医療福祉の占める割合が大きい
- 鴨川版CCRC等、医療福祉を軸としたまちづくりを進めている

#### 産業別売上高比率



出所：総務省・経済産業省「平成24年経済センサス - 活動調査」再編加工 (RESAS)

【注力することで得られる価値が大きいこと】

- 医療福祉ヘルスケア市場は急激に拡大しており、市場から得られるベネフィットが大きい



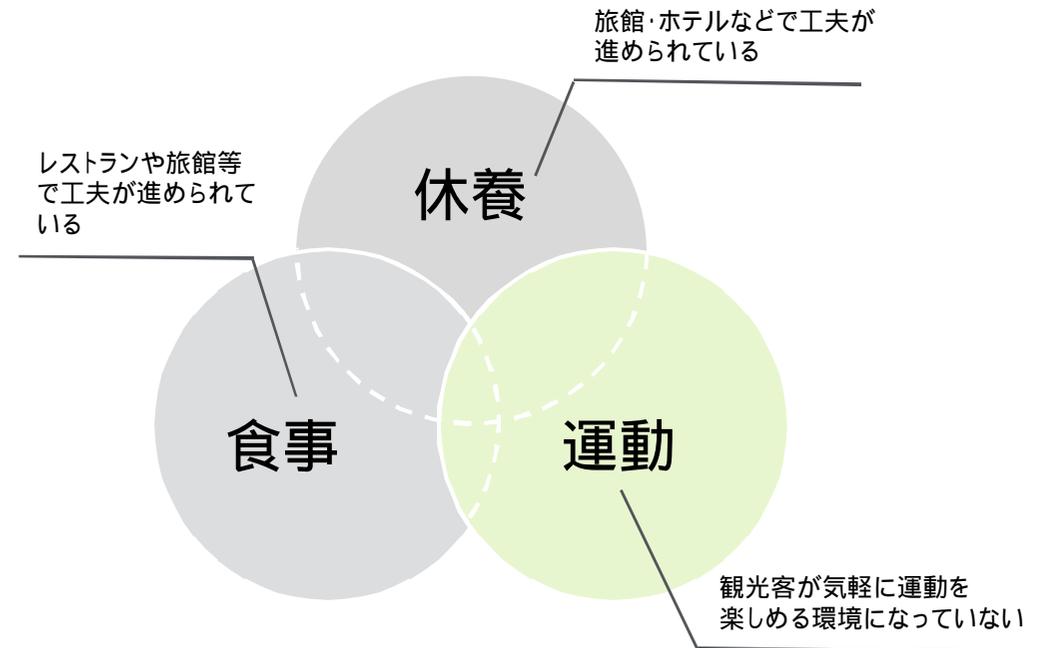
出所：日本再興計画

【ターゲットに訴求できること】

- メインターゲットとするアクティブシニア層はヘルスケアに関心が高い。内閣府による高齢者の日常生活に関する意識調査では、不安に感じる点として「自分や配偶者の健康や病気のこと」という回答が過去四回の調査で常に1位となっている

### 観光におけるヘルスケアの三要素

- ヘルスケアとしての提供価値を高めるためには休養・食事・運動の三要素をそろえることが求められる。
- このうち、運動については一つの事業者のみで整備することが難しく、課題が残っている。

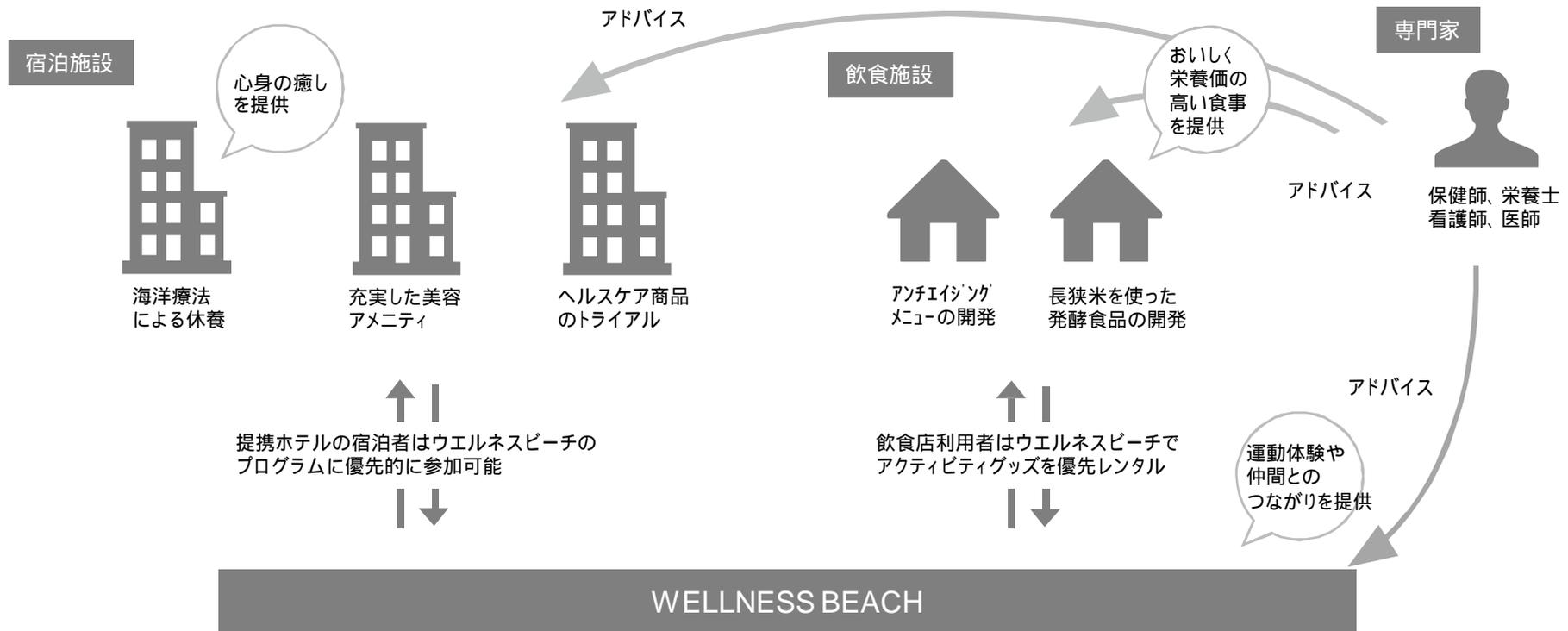


「運動」という要素は、整備が不十分かつ整備主体が不在の状態であり、提供方法について検討が必要である

# 観光客が気軽に「運動」を楽しめる場を作り出し、まち全体として「休養・食事・運動」を楽しみ、良質な日常を体験できるウエルネスリゾートを実現する

## 差別化を図る特徴的な価値提供を検討する(ヘルスケアを差別化要因としたウエルネスリゾート構想)

- まち全体に「休養・食事・運動」といったヘルスケアの要素を充実させ、良質な日常を体験できるウエルネスリゾートを実現する
- 宿泊施設は良質な心身の休養を、飲食施設はおいしく栄養価の高い食事を、ウエルネスビーチは爽快な運動体験やひとのつながりを提供する



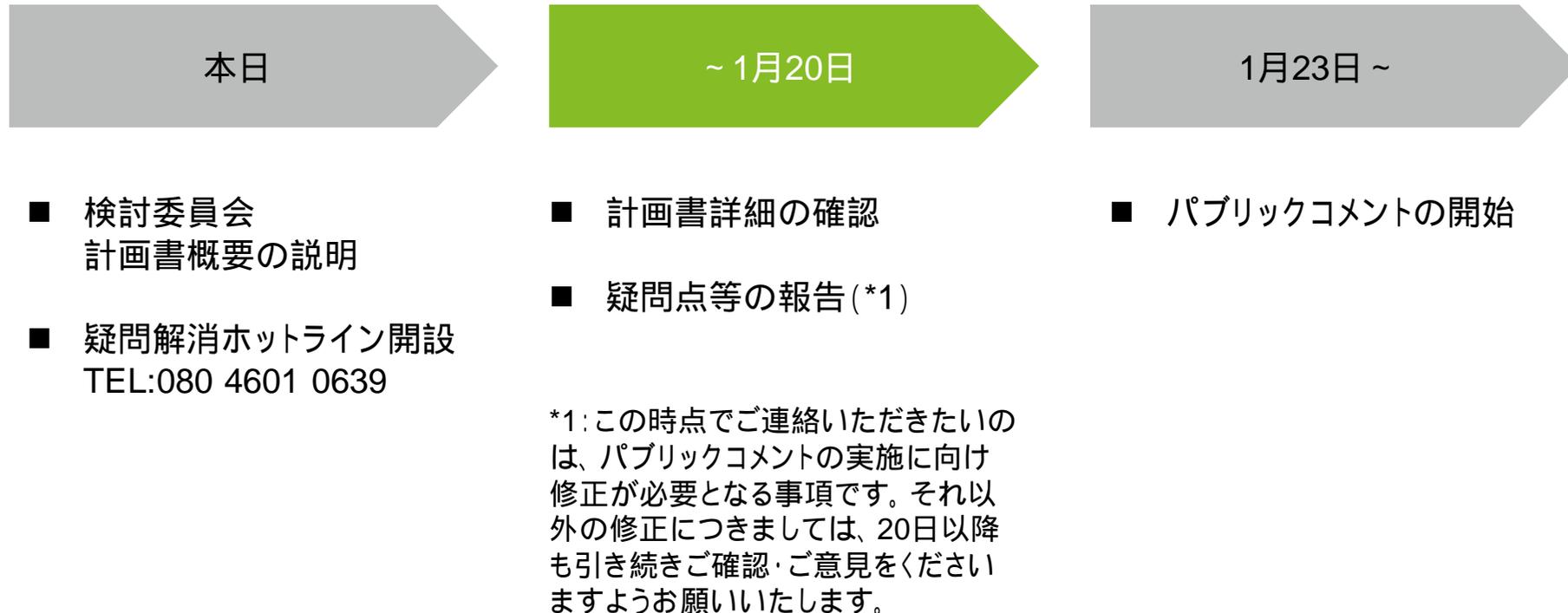
自然を活用した気軽に体験できる運動プログラムを提供

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ フラダンス</li> <li>■ ビーチヨガ</li> <li>■ ビーチピラティス</li> <li>■ ビーチ座禅</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ビーチサッカー</li> <li>■ ビーチバレー</li> <li>■ ビーチラン(日中・夜間)</li> <li>■ サイクリング</li> <li>■ トレッキング</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 初心者サーフィン教室</li> <li>■ 中級者サーフィン教室</li> <li>■ パドルダイエット</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ヨガマットレンタル</li> <li>■ サーフボードレンタル</li> <li>■ 自転車レンタル</li> </ul>                                    |



# 計画書の詳細について、委員の皆様からご意見を踏まえ修正し、パブリックコメント実施に向けて準備を進める

## 今後のスケジュール



### 3 協議したい事項について

## 整備すべき機能や、遊休地の活用方針について検討し、合意形成を図る

### 遊休地の活用とゾーニング方針について

#### 【テーマ】

求められる機能を実現する仕組みについて【10分】

遊休地の活用方法について【10分】

ゾーニングと名称付けについて【10分】

#### 【方法】

グループディスカッション

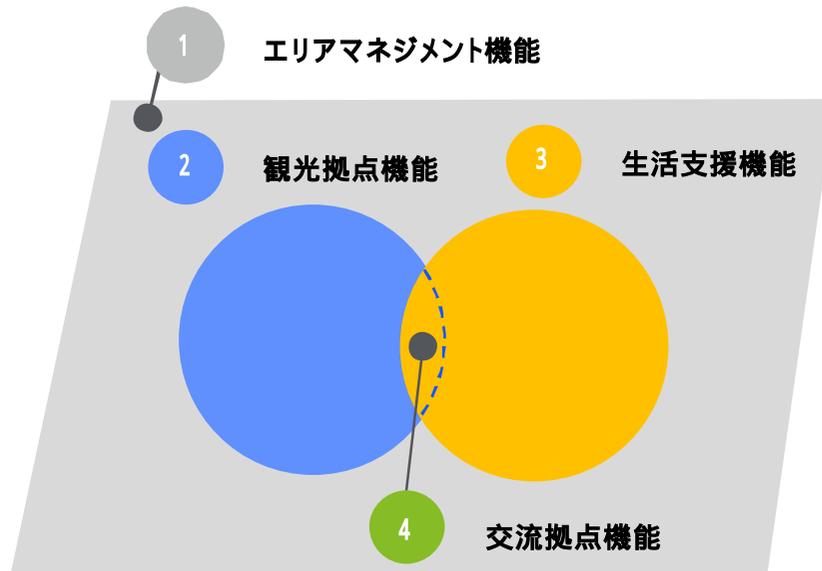
#### 【その他】

グループごとに出たアイデアをワークシートに記載してください

# 求められる機能を実現するための仕組みについて検討する

## 機能を実現するための仕組み

拠点に求められる4つの機能



### エリアマネジメント機能

エリアの活性化に向けて、統一的な方向性を示し、プロジェクトマネジメントを担う。また、他施策との連携を積極的に図り、鴨川市全体の活性化につなげていく機能

### 観光拠点機能

鴨川市外部から訪問する人に対するワンストップ窓口となり必要な情報を提供する。また、待合や地域産品販売などの機能も併せ持つ

### 生活支援機能

鴨川市内の方々の生活を支える機能。行政機能や防災機能を持たせ、市民が日常的に活用する場とする

### 交流拠点機能

訪問客と地域の魅力の交流を促す機能。人が集う場所やコンテンツを提供する

## 協議いただきたい部分

求められる機能を実現する仕組み案

### エリアマネジメントセンター

- エリア活性化の拠点施設
  - 観光客も地域の方も訪れたい機能を持たせる
- **観光案内**  
観光客に対し、観光情報やイベント情報をワンストップで提供する
  - **待合・休憩スペース**  
観光客が気軽に立ち寄り待合・休憩できるスペースを設ける
  - **エリア活性化事務局**  
エリア活性化に関する各事務局が横断的に集うスペースを整備する
  - **子育てひろば機能**  
子育て中の方が集い、情報交換できるスペースを設ける
  - **情報発信施設**  
コミュニティFMラジオ局等の設置や、防災放送設備等を整備する
  - **移住促進**  
観光客が鴨川への移住について気軽に相談できる施設を整備する

### 魅力体験広場

- 海岸を活用したコンテンツ提供やイベント開催を担う
  - 観光客と地域の魅力が交わるために機能を持たせる
- **コンテンツ提供**  
海岸を活用したアクティビティ等の企画・提供を行う
  - **地域産品販売**  
鴨川周辺の食や工芸品等を気軽に楽しめる場を提供する
  - **イベント開催**  
観光客と地域の人々双方が楽しめるイベントを企画・提供する

# 遊休地については、それぞれの土地の特徴活かした活用を進めていく

## 遊休地活用方針を定める(1/2)

### 市民会館跡地

### フィッシャリーナ後背地

- エリアマネジメントセンターの横に景観を楽しむテラスを設置する
- 地域のこどもが遊ぶことのできる公園を設置する

- 観光の魅力体験や飲食スペース、イベントスペースを設置する
- BBQ等のアウトドアレジャーが楽しめるスペースを整備する

【土地の特徴】

所有状況	鴨川市および国が所有
駅からの距離	350m (徒歩4分)
敷地面積	約3,357m <sup>2</sup> (約1,015坪)
その他の特徴	安房鴨川駅から直線であり、当該地域の拠点となる場所

【土地の特徴】

所有状況	鴨川市および鴨川市漁業協同組合が所有
駅からの距離	1,100m (徒歩14分)
敷地面積	約12,199m <sup>2</sup> (約3,690坪)
その他の特徴	現在はイベント会場、臨時駐車場として利用

【活用方針】

当該敷地にエリアマネジメントセンターを整備する(\*1)

【活用方針】

当該敷地に魅力体験広場を整備する(\*2)

【配置イメージ】

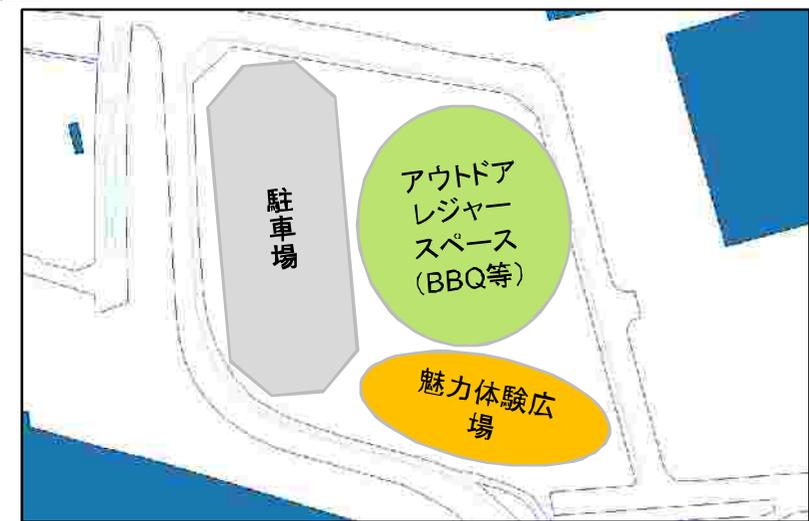
協議いただきたい部分



\*1:エリアマネジメントセンターの機能についてはPXXを参照

【配置イメージ】

協議いただきたい部分



\*2:魅力体験広場の機能についてはPXXを参照

# エリアマネジメントセンターから魅力体験広場までのプロムナードはコンテナショップを活用した飲食や特産品のビーチショップロードとして活用する

## 遊休地活用方針を定める(2/2)

### プロムナード

- エリアマネジメントセンターから魅力体験広場の間のプロムナード沿いに観光客や地域の住民が利用できる飲食店やショップを誘致する

#### 【土地の特徴】

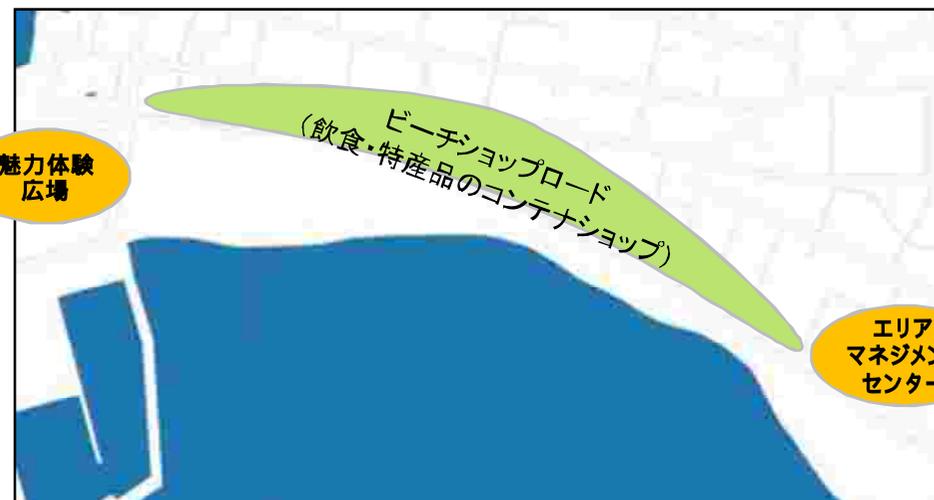
所有状況	国および市民が所有
駅からの距離	350～1100m(徒歩4～14分)
敷地面積	-
その他の特徴	エリアマネジメントセンターから魅力体験広場までの直線の通り

#### 【活用方針】

当該プロムナードに飲食や特産品のショップを誘致する

協議いただきたい部分

#### 【配置イメージ】

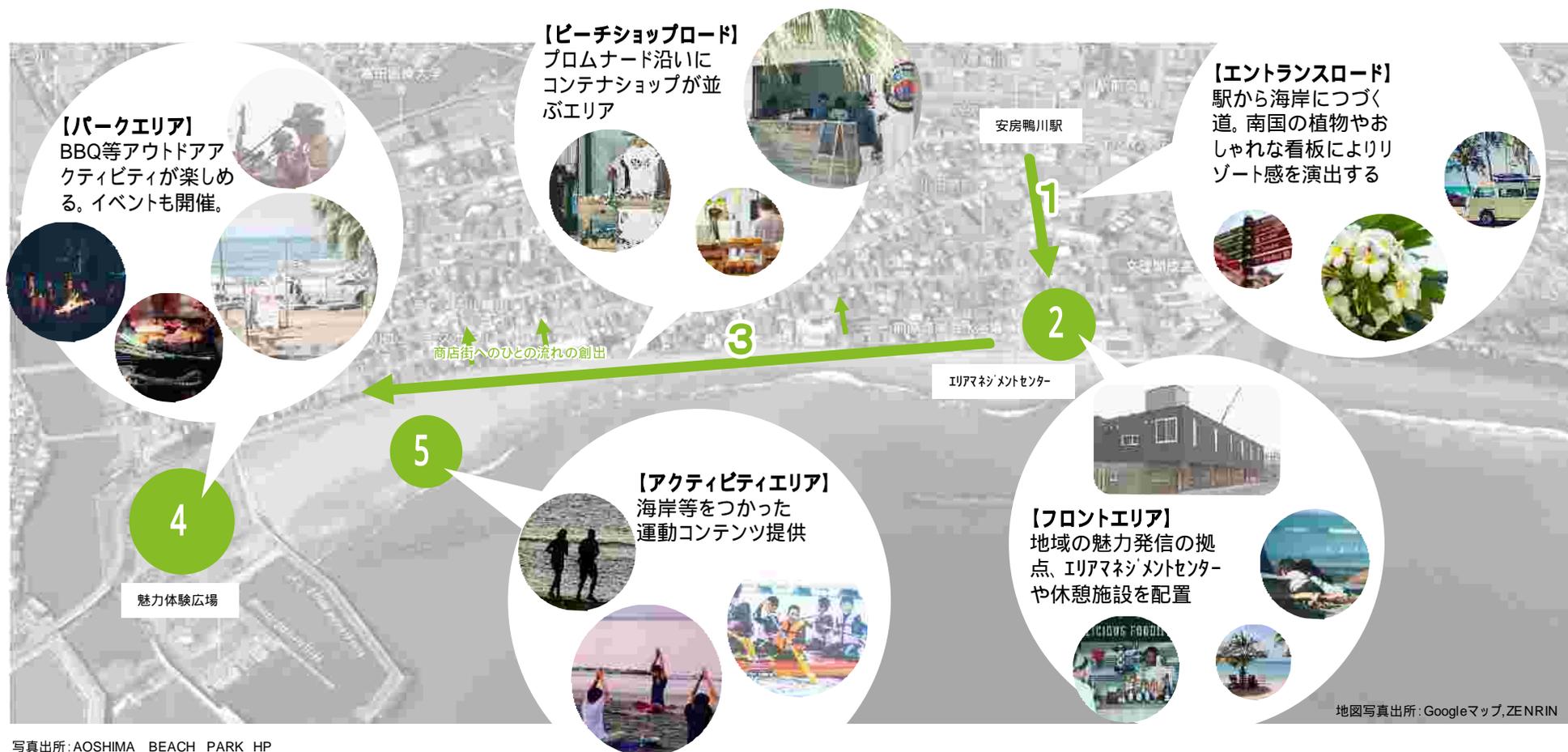


# 海岸周辺を複数のエリアに分け、提供価値を明確化すると共に、最適な土地利用を図る

## 統一的なサービス提供のためのゾーニング計画を実施する(整備後のイメージ)

- 安房鴨川駅からエリアマネジメントセンター、魅力体験広場への人の流れを生み出すエリア設計を行う
- 各エリアのテーマに沿って施設・機能を集約することで、どこで何が楽しめるのかが分かりやすい環境を整備する

### 協議いただきたい部分



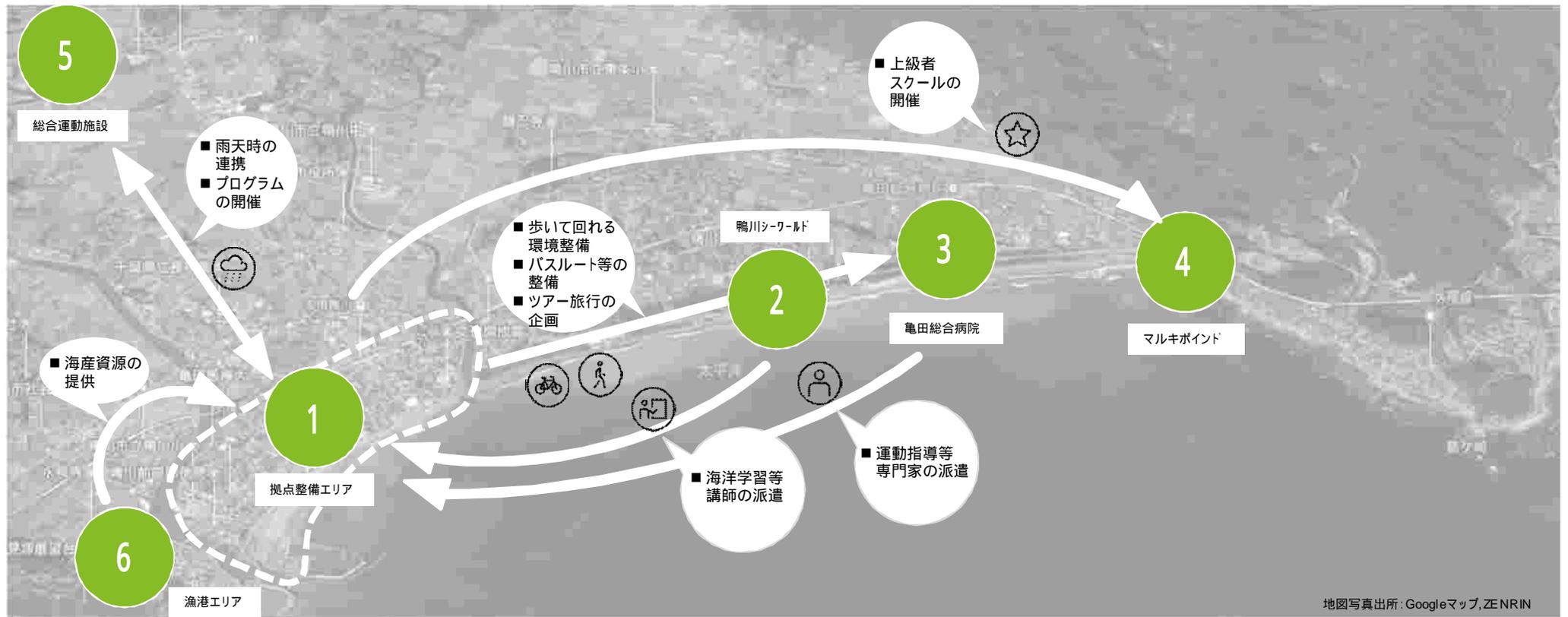
写真出所: AOSHIMA BEACH PARK HP  
<http://aoshimabeachpark.com/>

# 參考資料

# 拠点と各資源が有機的に連携できる体制を整え、地域全体での魅力づくりを目指していく

## 拠点エリアと他の資源との連携構想

- 今回中心的に整備を進める拠点整備エリアと、他の資源の連携を図り、集客や消費額の増加を地域として拡大していくことを目指す



## 4 検討委員アンケートについて

# 次年度以降のプロジェクト推進に向け、検討委員の皆様へ再度アンケートを実施する

## 今後のスケジュール

### 【趣旨】

構想の実現に当たって、行政・民間企業・市民それぞれが同じ目的の元協力し、ヒト・モノ・カネ・情報といった資源を提供し合う体制が欠かせない。構想実現に向けたそれぞれの関与の仕方を明確にし、行政として最適な支援の在り方を検討するために、アンケート調査を実施する。

### 【回答方法】

明日(1月19日)に皆様のメールアドレス宛にアンケートデータ(Excel形式)を送付いたします。

データを編集・上書きの上、ご返信いただきますようお願いいたします。

なお、Excelの編集が難しい場合は別途ご相談くださいますようお願いいたします。

### 【回答期限】

2017年2月3日(金)

【第2回検討委員の皆様へのアンケート調査】

● アンケート調査の目的

前回調査で海岸エリアの活性化について、希望・構想をより具体的にするとともに、実現に向けた取組を加速させていくことが求められます。構想の実現に当たっては、行政・民間企業がそれぞれが同じ目的の元協力し、ヒト・モノ・カネ・情報といった資源を提供し合う体制が欠かせません。構想実現に向けたそれぞれの関与の仕方を明確にし、行政として最適な支援の在り方を検討するために、本アンケート調査を実施いたします。

● 問1 以下の属性情報についてご回答ください

ご所属する団体名:	
お名前:	

● 問2 海岸エリアの活性化に向け、行政・民間企業・市民の役割についてお答えください

● 行政の役割と期待する取り組み

---

● 民間企業の役割と期待する取り組み

---

● 市民の役割と期待する取り組み

---

● 問3 ご自身が当該プロジェクトの推進に向け関与したい事項、取り組むことのできる事項について教えてください。

---

● 問4 商店街の再生に向け、以下の二つの考えがあります。これらを選択し、ご自身のお考えをお答えください。

考え①: 現在の場所で商店街を再生させるべきである。  
 考え②: 現在の場所での商店街の再生ではなく、新たな商店街構想を作り、そこへの移転を促すべきである。

---

ご協力ありがとうございました。

## 5 次回打ち合わせの確認